

第2回公開ボランティアセンター会議 議事録

- ・開催日:令和5年2月9日(木)10:00~11:30
- ・場所:みどりっこルーム
- ・参加者:13名(ボラセン以外の参加者5名)

1. 会長挨拶(最後の締めの挨拶として)

皆さんから貴重なお話を伺う機会は少ないが、「なんのためにPTA活動があるのか」というと、子どもたちの成長を見守ったり保護者自身の成長を促すためのものなので、こういう機会を活かして、PTAがよりよい組織になるよう、先生方も保護者の皆さんにもご協力をお願いしたい。

2. 校長先生挨拶

- 新入生保護者説明会があった。新入生は105名の予定。106名から4クラスになる(105名までは3クラス)ので、動向が気になる。新入生の転出入情報があればぜひ提供を。
- コロナは落ち着いているが、インフルエンザによる学級閉鎖が1クラスあった(今は落ち着いている)。
- 今年度の卒業式は、来賓なし、保護者2名までの予定。5年生には予行演習に参加してもらい雰囲気をつかんでもらう予定。マスクなしと世間では言われているが、まだ新しい方針が出されていない(熊本市)ので、これまで通りの対応で。

3. ボラセンより報告

①アンケート結果(配付プリント(参加者)・HP掲載の結果をご覧ください!)

- 令和5年1月末時点、全世帯数458世帯、うちPTA会員数305世帯(PTA加入率67%)
- 回答率 全世帯36%(PTA会員53%)
- 回答数がもう少し欲しかったが、yes・noだけでなく、コメント数が多かったことから、きちんと考えて回答していただけている印象を受けている。次年度の活動に活かしていけるよう検討をしていく。

《アンケートを受けていただいたご意見・ご提案など》 ~ざっくばらんな談話~

- ・「どちらでもない」という人は、HPがあっても見てもらえない。関心がある人しか見ない。
 - ➡プリントを出して、見てもらえるように促しをしては?(書面が保護者に渡らないリスクもある)
- ・メールは、受信タイミングや通信状態等によって、気づかず過ごしてしまう・忘れてしまうこともある
 - ➡送信する時間帯や送信回数を増やすこと(リマインダー)で、閲覧数や回答数が変わるのでは?
- ・PTAに対する興味関心が低いのが残念!
 - ➡オフィシャルではなく、口コミ的なアナウンスやアピールも必要では?(「📣PTAってこんないいことがあるんですよ!」というアピールを。)
 - ・先生との関わり、子どもの情報を得られる、顔・名前がつながること等のメリットを伝える
 - ・頑張っている感がすぎるとこわくなる&遠い存在
- ・学校と保護者(担任と保護者)の距離が遠くなっている印象・危機感は学校も持っている

- ・安心メールを、先生を介さずボラセンから直接配信することはやはり不可能なのか？
 - ➔個人情報の観点から学校のを使うことは難しい(校長より)
- ・新入生の半数以上は長子(第1子)の入学。新入生説明会や入学式で PTA のアピールをしてみても？
 - (早い方は20~30分前に着席されているので、楽しそうな PTA 活動の動画を流してみたり、対面でのアナウンスをしたり、いろいろと試してみても？)

②お試し会則の修正事項

(新旧サークル長関係の方が本日の参加者に多いので、サークル関係メインについて)

- ・サークル代表者への活動費を、12 か月で割れるよう修正提案(年単位の活動をメインと考えるが、転出入等の入れ替わり時に対応しやすくなるように)
- ・サークル設立時三役立てることをお願いしていたが、3人以上であればよい、と修正。
- ・ボラセンメンバーがサークル長兼任することについて、ボラセン内で協議し、一人でも多くの方に関わってもらいたい、という期待を込めて、「兼任しない」方針で。会則ではなく手引の方に明記。
- ・安全部会地区部会との関係見直しに伴う修正変更
 - ➔PTA とは組織上線引きを明確にするが、今後も「協力関係」としての関係を維持していく
 - ➔子ども会入会児童 1 人あたり 200 円の助成を撤廃するかわりに、協賛金として安全部会安全部会に一定額渡す方向で検討中 ➔ 会費から支出することへの明確な理由付けが必要！
 - ➔安全部のハッピー・ベストなどの備品はどこから支出するようになる？
 - ⇒必要に応じて自治会・子ども会にて相談・購入を。
 - ⇒現在学校に保管してある安全部保有のタスキなどを各町内に分配する
 - ➔遠足や運動会など学校行事における安全協会への依頼は、学校・PTAから直接するようになる
 - ➔旗振り等の取り決めの修正・変更＝学校・PTAではなく各町内子ども会で相談していただきたい
 - ➔こどもひなんの家のリストは、これまで同様、窓口は教頭先生にお願いする(2年に1度)

4、その他

- ◎先生お助け隊で毎週の牛乳カゴ清掃の実施が不可能になっている(2週間に1回のペースではできている)
 - ➔子どもたちに、水切りカゴの下に溜まった水を捨てる&軽く水ですすぐだけでもお願いできないか。
 - ⇒牛乳カゴの清掃は学校でそれぞれ。やり方はいろいろあるので検討します！(学校)
 - ⇒感染症の分類変更にも伴い、手すりの消毒作業は無くす方向で。
- ◎先生お助け隊の「先生」を除いてはどうか？(PTAの基本は「子ども達のため」なので、その名称に抵抗を感じたり、活動が見えない保護者もいるのでは？)
 - ⇒名称変更を検討する(子どもたちのため！学校や先生、PTAのためにも？！)